



令和元年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 新潟交通株式会社
代表者名 代表取締役社長 星野 佳人
(コード番号 9017 東証第二部)
問合せ先 取締役総務部長 長沼 哲男
(TEL. 025-246-6335)

平成 31 年 3 月期 通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期連結期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 19,600 | 百万円 1,550 | 百万円 1,150 | 百万円 600 | 円銭 156.13 |
| 通 期 実 績 (B) | 19,817 | 1,954 | 1,546 | 909 | 236.79 |
| 差異額 (B - A) | 217 | 404 | 396 | 309 | — |
| 差 異 率 (%) | 1.1 | 26.1 | 34.5 | 51.7 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期) | 19,915 | 2,162 | 1,641 | 1,113 | 289.68 |

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 差異の生じた理由

売上高が概ね順調に推移したことに加え、当社グループ全体で取り組んだ経費削減効果と有利子負債の圧縮等により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想値を上回りました。

以 上